

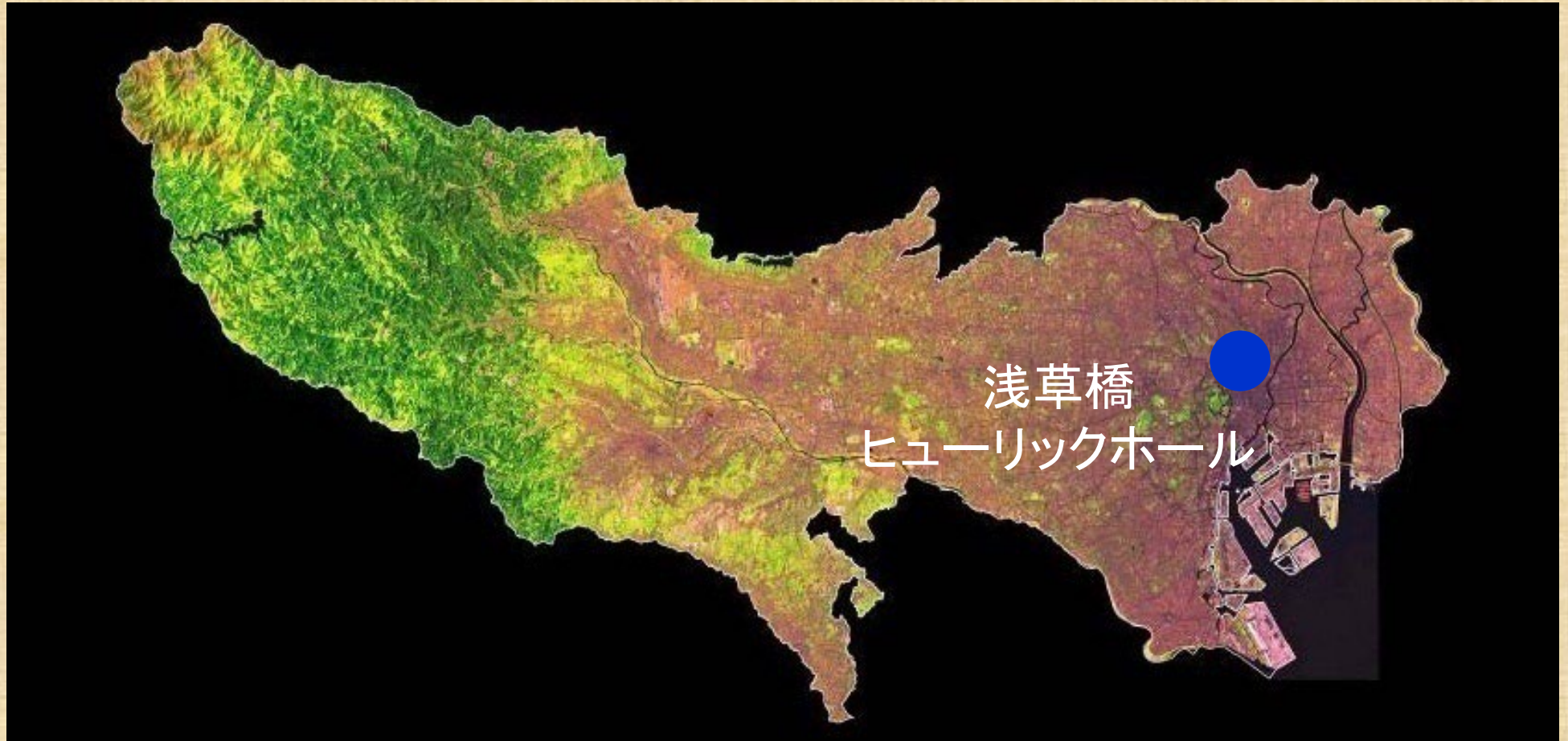
# 自治体間連携による 森林整備の取組み ～「多摩の森」活性化プロジェクト～

東京都森林課 荒川純彦

1. 東京都（多摩地域）の森林
2. プロジェクト発足まで
3. プロジェクトの取組み

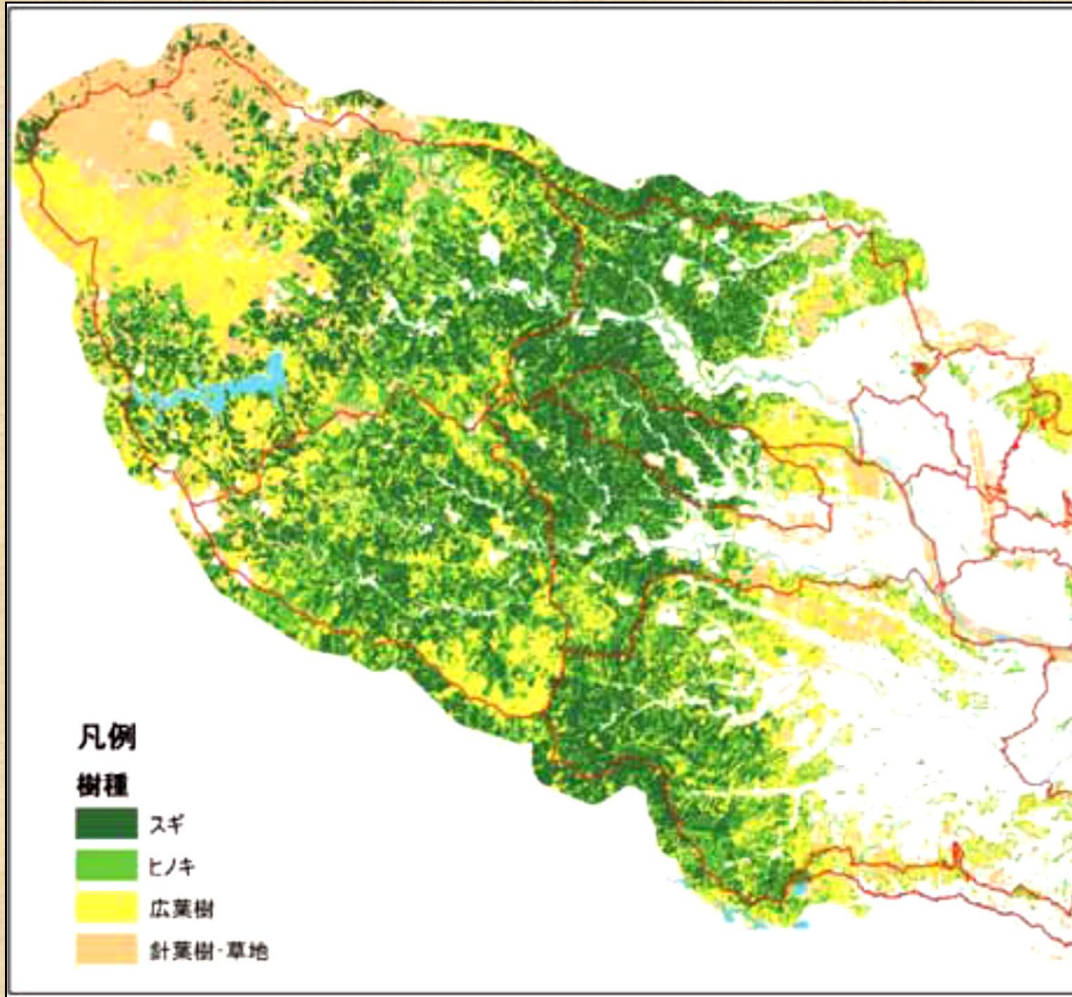


# 東京の森林位置図

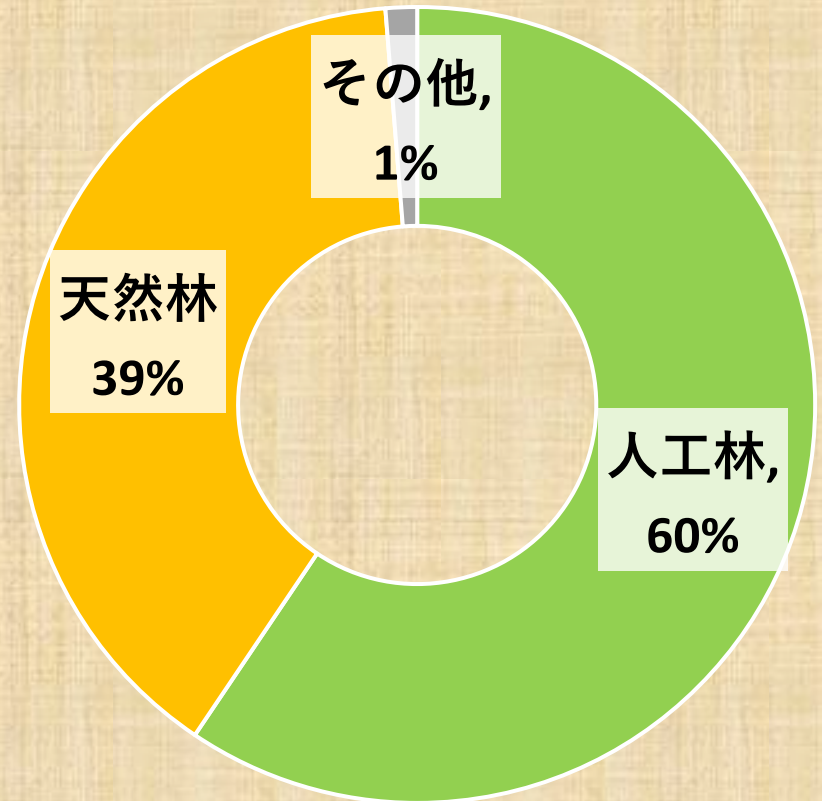


林野率 : 森林面積 / 総土地面積  
東京 = 36% (内地30% , 島嶼64%) 全国 = 67%

# 多摩地域の人工林

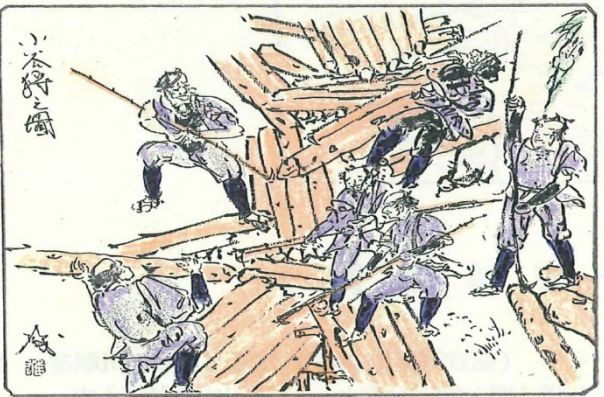
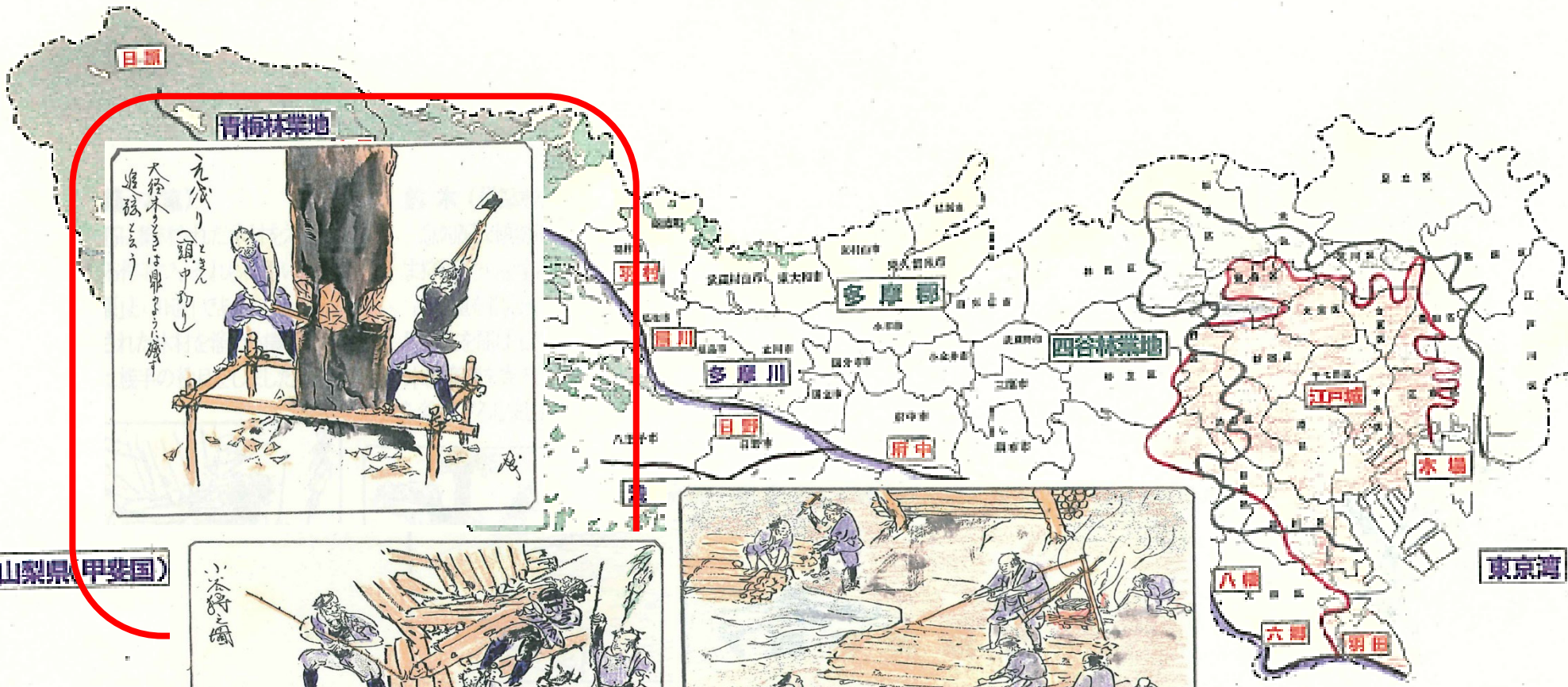


人工林率は約60%  
(全国:46%)





# 青梅林業



	墨引内 (江戸幕府管轄)
	朱引内 (町奉行支配)
	多摩川



# 急峻な多摩地域の森林

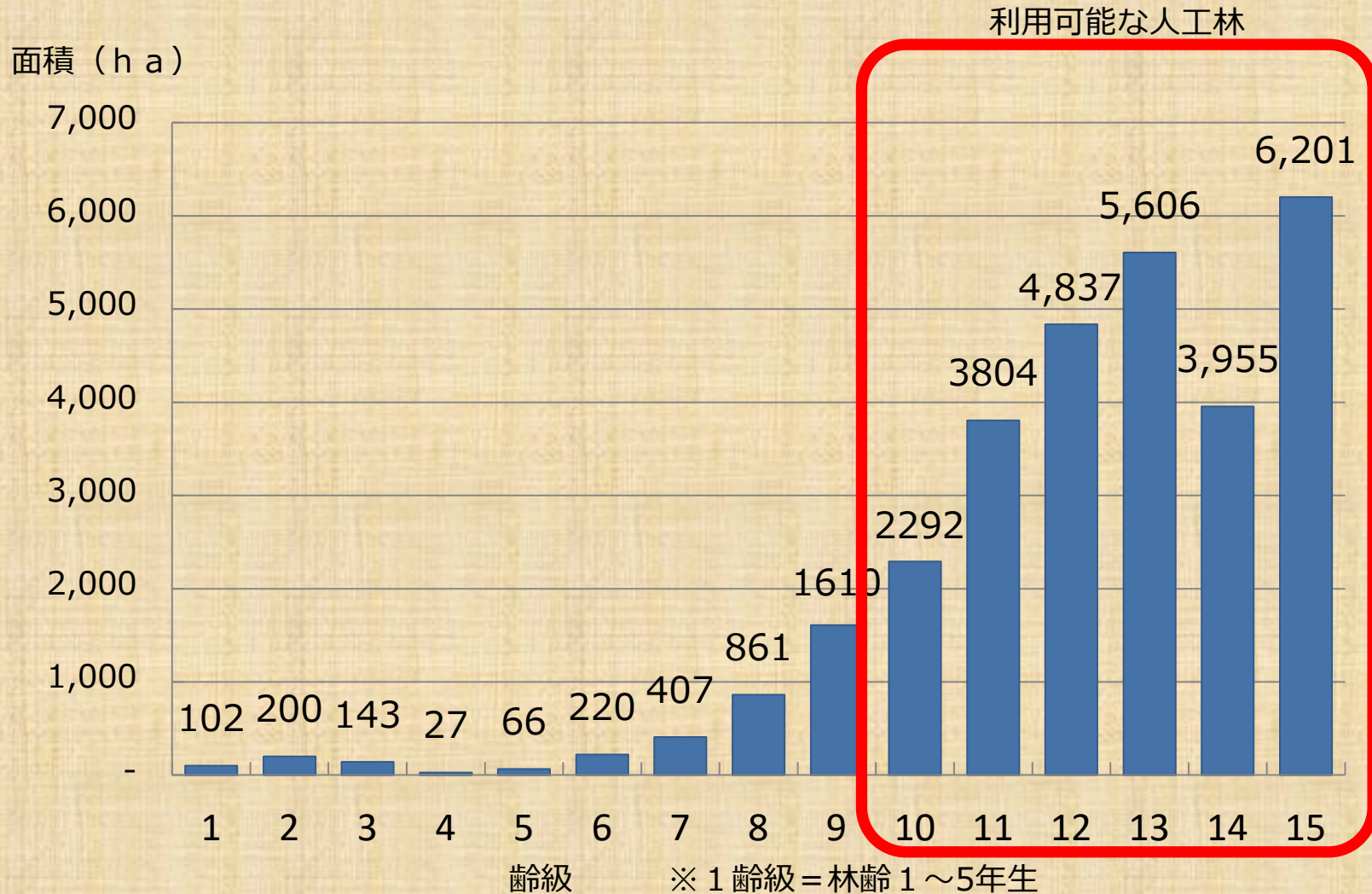


檜原村の人工林



# 多摩地域の森林の林齢構成

## ■ 51年生以上が約8割



1. 東京都（多摩地域）の森林
2. プロジェクト発足まで
3. プロジェクトの取組み



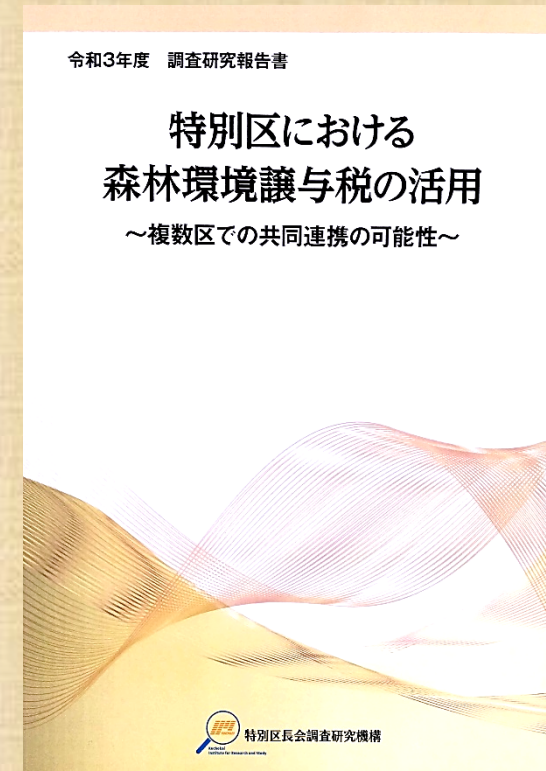
# 令和3年度

## ○特別区における森林環境譲与税の活用 ～複数区での共同連携の可能性～ (特別区長会調査研究機構)

### ○研究体制

リーダー：筑波大学 立花敏准教授

研究員：中央区、千代田区、  
荒川区、板橋区、足立区



## ○ 主な検討内容

- 都市部の自治体が森林管理に貢献できる方法
- 複数区での共同連携のスキーム
- 連携先(山村部自治体)
- 事業内容
  - 森林整備だけでは住民への説明が困難
  - 木材調達、現場体験、カーボンオフセットの実施を併せて検討



# 令和4年度

## ○ 都内連携設立に向けた準備会（延べ4回）

特別区：千代田区、中央区、台東区、  
品川区、荒川区、葛飾区

市町村：八王子市、青梅市、あきる野市、  
日の出町、檜原村、奥多摩町

東京都（事務局）

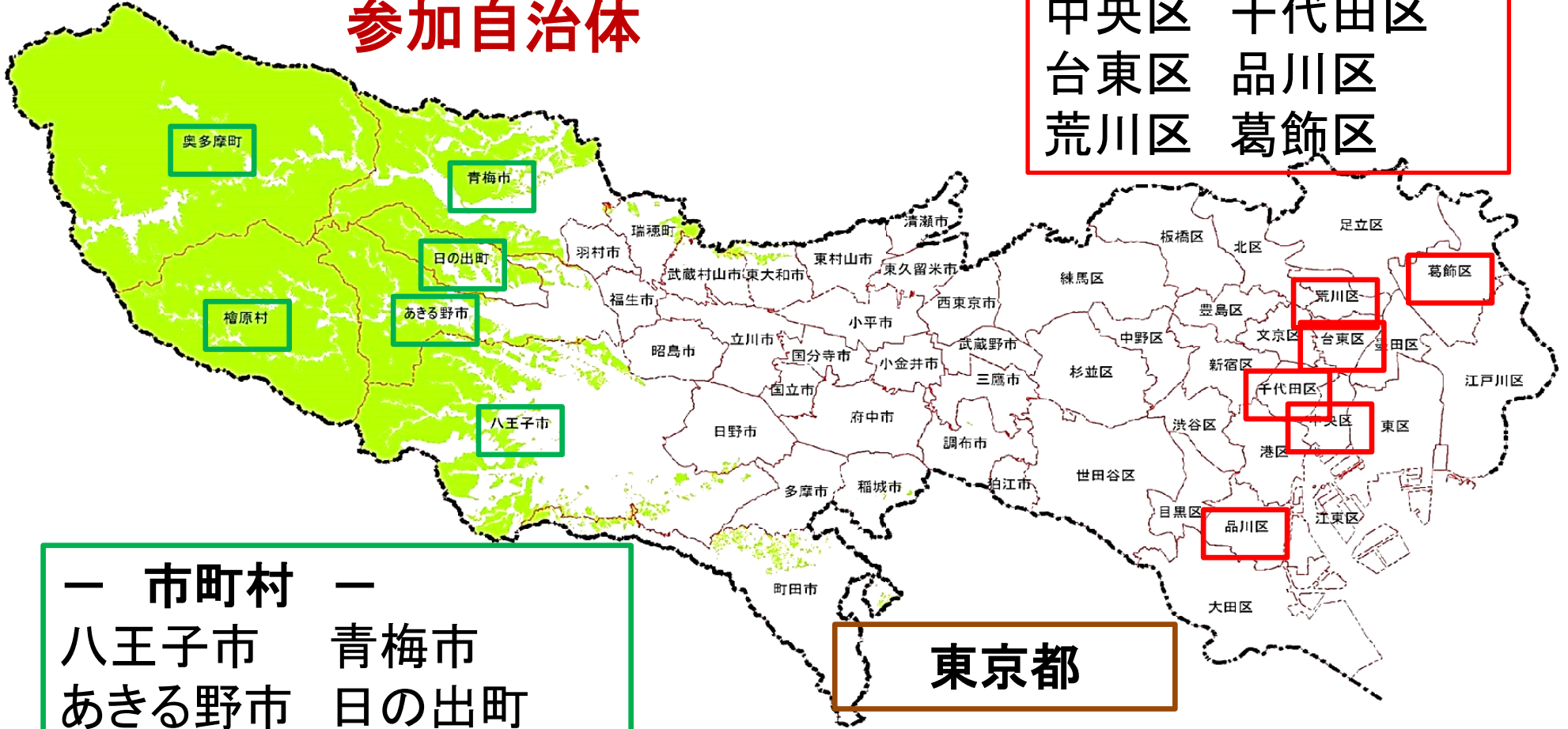


## ○ 準備会における協議内容

- 事業スキームの調整
- 協定書、覚書、規程類の整備
- 各事業の詳細、事業地の確保、事業費の算定
- 都内連携事業(組織)の名称
  - 「多摩の森」活性化プロジェクト(推進協議会)
- 協定締結式の実施



# 「多摩の森」活性化推進プロジェクト 参加自治体



— 特別区 —  
中央区 千代田区  
台東区 品川区  
荒川区 葛飾区

— 市町村 —  
八王子市 青梅市  
あきる野市 日の出町  
檜原村 奥多摩町

東京都

# 参加自治体の概要

自治体名	人口 (人)	総面積 (km2)	5 条森林 (ha)	林野率 (%)	R 4 譲与税 (千円)
千代田区	67,165	11.66	0	0	27,076
中央区	170,016	10.21	0	0	22,468
台東区	210,460	10.11	0	0	22,406
品川区	416,492	22.84	0	0	45,928
荒川区	218,164	10.16	0	0	23,182
葛飾区	454,114	34.80	0	0	47,974
<b>計</b>	<b>1,536,411</b>	<b>99.78</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>189,034</b>
八王子市	576,560	186.38	7,833	42	78,710
あきる野市	79,609	73.47	4,395	60	20,254
青梅市	132,686	103.31	6,462	63	37,288
日の出町	17,033	28.07	1,904	68	12,634
檜原村	1,964	105.41	9,751	93	33,740
奥多摩町	4,816	225.53	21,167	94	37,970
<b>計</b>	<b>812,668</b>	<b>722.17</b>	<b>51,512</b>	<b>71</b>	<b>220,596</b>



## 協定締結式の開催

- 日時 令和5年7月31日（月）16：30～
- 場所 東京都庁第一本庁舎6Fホール
- 出席 東京都知事  
参加自治体（12区市町村）の首長
- 内容 都知事、会長、副会長挨拶  
協定書へのサイン  
フォトセッション
- ※ 協定締結式に引き続き、設立総会を開催

# 協定締結式の様子





1. 東京都（多摩地域）の森林
2. プロジェクト発足まで
3. プロジェクトの取組み

# 協議会のスキーム図

## 「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会

### 特別区

中央区 千代田区  
台東区 品川区  
荒川区 葛飾区

### 多摩6市町村

八王子市 青梅市  
あきる野市 日の出町  
檜原村 奥多摩町



連携

負担金

事務局運営費  
森林整備等実費

負担金:事務局運営費  
事業地の提供

自治体間  
協定

東京都(事務局)

負担金:事務局運営費

林業事業体  
財団  
コンサル企業等

事業の実施  
(委託・協定等)



# 具体的な取組

## 1. 森林整備

多摩地域の森林において間伐等施業を実施

## 2. カーボンオフセット（CO<sub>2</sub>吸収）

都の森林貢献認証制度によりCO<sub>2</sub>吸収量を認証

## 3. 現場体験

多摩の森を活用し、林業作業、自然観察その他の体験事業を実施

## 4. 木材活用

多摩産材、協議会事業による間伐材等の活用

# 事業の実績と予定

## 令和5年度

### 1. 森林整備事業

間伐 22ha (あきる野市・奥多摩町)

カーボンオフセット (CO<sub>2</sub>吸収 660t)

### 2. 機運醸成事業

→ webサイト開設、PR動画作成等

## 令和6年度 (予定)

### 1. 森林整備事業

間伐 11ha (檜原村・あきる野市)

カーボンオフセット (CO<sub>2</sub>吸収 330t)

### 2. 現場体験事業

檜原村 (4回)、奥多摩町 (4回)

### 3. 機運醸成事業

→ 詳細検討中



## 取組を通じて感じたこと

1. 自治体ごとに考え方は異なる  
→ 丁寧な説明と緻密な連絡調整が重要
  2. 区部と市町村間の意思疎通の重要性  
→ 川下と川上のニーズの擦り合わせが必須
  3. 計画性を持った事業展開  
→ 数年先まで見越した事業計画が必要
- 森林総合監理士（フォレスター）の業務に通じる点が多い。

ご清聴ありがとうございました